

## 21世紀の工芸理念の研究 現代ガラス造形の動向から工芸世界の問題点を探る

研究年度・期間：平成16年度

研究ディレクター：山口 道夫  
(工芸学科 教授)

共同研究者：柳原 睦夫 (工芸学科 教授)      藪 亨 (教養課程 教授)      伊藤 隆 (工芸学科 教授)      市野 年成 (工芸学科 教授)      福本 繁樹 (工芸学科 教授)

佐々田美雪 (工芸学科 助教授)      小野山和代 (工芸学科 助教授)      山野 宏 (工芸学科 助教授)      田嶋 悦子 (工芸学科 講師)

研究助言者：外館 和子 (茨城現代陶芸美術館 学芸部 研究員)      青木 正弘 (豊田市美術館学芸課 課長)      榎本 徹 (岐阜現代陶芸美術館 館長)      伊藤 孚 (多摩美術大学工芸 学科 教授)      水田 順子 (北海道立近代美術館 学芸課 主任学芸員)

渋谷 良治 (富山ガラス造形研究所 教授)

研究補助者：南野 馨 (工芸学科 非常勤講師)      酒井 稚恵 (大学院 非常勤助手)      佐藤 奈央 (工芸学科 非常勤助手)

平成16年度研究計画は「21世紀の工芸理念の研究 現代ガラス造形の動向から工芸世界の問題点を探る」を課題とした。平成9～11年度の「高等教育機関における工芸の創作・教育の現場と、そのあり方」、平成12～14年度の「現代社会における工芸の実作と教育の現場」の研究を引き継ぎ、その成果を生かしながら、さらに21世紀の工芸理念の研究を行なおうとするものである。その方法として、1)全国にある工芸の実作・研究・教育現場を訪ね、その実情と成果や問題点を地域の特殊性とともに取材。2)現地、現場の実情を見聞したうえで、複数の研究者とのセッションの場を現地に設定して討論会を開催。3)その討論会にもとづき、共同研究員による意見・情報交換などの研究会を開催。4)討論会の内容を記録、文章化して、出版や投稿などの発表にそなえる。5)その他、資料収集、工芸研究施設訪問取材、学外交流などをすすめる。以上、おもに5つの方法にとりくんだ。研究業績を社会的なものとしようとする活動の一端として、報告書「21世紀の工芸を考える 大阪芸術大学芸術研究所研究計画の成果から Part Ⅰ」(A4判、総60頁)を年度末に発行した。具体的な成果の主要部分を、セッション記録としてそこに掲載しているが、ここではその目次内容のみを次に記したい。

民族と焼きもの	民族性と現代性 南太平洋の土器をめぐって 福本繁樹(染色家、大阪芸術大学)
美術館と工芸	民族と焼きもの 中村錦平(陶芸家、多摩美術大学) 速水史朗(造形作家) 柳原睦夫(陶芸家、大阪芸術大学) 三浦弘子(現代陶芸、滋賀県立陶芸の森) 外館和子(茨城県陶芸美術館) 榎本 徹(岐阜県現代陶芸美術館)

青木正弘（豊田市美術館） 進行 / 柳原睦夫（大阪芸術大学）  
ガラス工芸の現在 伊藤 孚（多摩美術大学） 水田順子（北海道立近代美術館） 渋谷良治（富山ガラス造形研究所） 進行 / 山野 宏（大阪芸術大学）  
書評 『21世紀は工芸がおもしろい』 中村桂子 金子賢治 榎本 徹 舟迫 正 「月刊美術」 季刊「銀花」 「炎芸術」 季刊「陶磁郎」 月刊「染織」 藤田治彦 「パッチワーク通信」 山形政昭 太田喬夫  
大阪芸術大学藝術研究所研究計画活動概要 後記にかえて

なお、おもな活動概要を以下に列挙する。（ は上記 1 ）の活動、 は上記 2 ） 3 ） 4 ）の活動）

MIHO MUSEUM 訪問。参事の辰馬勝彦氏の案内で春期特別展「長安 陶傭の精華 汗血馬と美女の系譜をたずねて」観賞。2004年4月17日

滋賀県立陶芸の森・陶芸館で開催された「神々の形象 パプアニューギニアの土器」展観賞。福本繁樹の列品解説。2004年4月17日

滋賀県立陶芸の森・民族芸術学会共催 公開セッション「民族と焼きもの」企画協力・記録編集。研究発表 / 福本繁樹（染色家・大阪芸術大学教授）。パネルディスカッション パネリスト / 中本錦平（陶芸家、多摩美術大学教授） 速水史朗（造形作家） 柳原睦夫（大阪芸術大学教授） 滋賀県立陶芸の森産業展示館ホールにて、2004年4月17日

岐阜県現代陶芸美術館訪問。「表現者 河井寛次郎」展観賞。榎本徹館長、学芸の渡部誠一、高満津子氏らと面談。2004年6月20日

セッション「美術館と工芸」主催。パネリスト / 外館和子（茨城県陶芸美術館主任学芸員） 榎本徹（岐阜県現代陶芸美術館館長） 青木正弘（豊田市美術館学芸担当専門監） 進行 / 柳原睦夫（大阪芸術大学教授） 岐阜県現代陶芸美術館レクチャールームにて、2004年6月20日

秋の有隣荘特別公開「有隣荘・田嶋悦子・大原美術館」展観賞。2004年10月15日

大原美術館訪問。本館や工芸館見学。高階秀爾館長、柳沢秀行学芸員らと懇談。2004年10月15日

大原民藝館訪問。学芸員の小畠邦江氏の案内で館内見学。2004年10月15日

平成の大遷座祭斎行記念「金刀比羅宮のすべて 奥書院特別公開」展観賞。2004年10月16日

金沢21世紀美術館訪問。学芸員の不動美里氏の案内で開館記念展覧会『21世紀の出会い 共鳴、ここ・から』鑑賞。2004年12月11日

セッション「ガラス工芸の現在（いま）」主催。パネリスト / 伊藤孚（多摩美術大学教授） 水田順子（北海道立近代美術館学芸第一課長） 渋谷良治（富山ガラス造形研究所教授） 進行 / 山野宏（金津創作の森・大阪芸術大学助教授） 金津創作の森美術館にて、2004年

12月11日

金津創作の森訪問。大阪芸術大学助教授の山野宏の案内でアートコア、創作工房などを見学。

2004年12月11日

富山ガラス造形研究所訪問。渋谷良治主任教授の案内で施設見学。2004年12月12日

三星美術館 Leeum, Samsung Museum of Art (ソウル) 観賞。2005年2月4日

湖林博物館 Horim Museum 観賞。2005年2月5日

淑明女史大學校鄭英陽刺繍博物館訪問。学芸員の案内で館内のコレクション観賞。学藝部長の金泰子 Kim Tae-Ja 氏に面談。2005年2月5日

草藁生活史博物館 Museum of Korea Straw and Plants Handicraft 訪問。館長の印炳善 In Byung-Sun 氏と懇談。2005年2月6日